

23

南区要町付近などでは、既に一部環境施設帯が整備されています。



国道23号南区要町付近

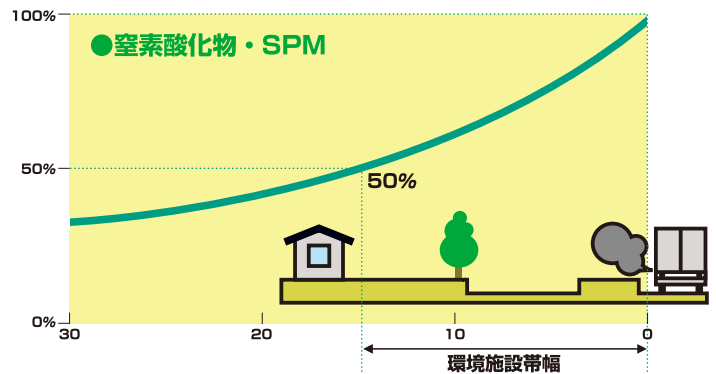


排ガス影響の低減効果

平面部：南区浜田町付近でのシミュレーション

沿道の排ガスによる影響は道路から離れるごとに減少、環境施設帯相当幅の15m離れた地点では概ね50%に低減(試算)

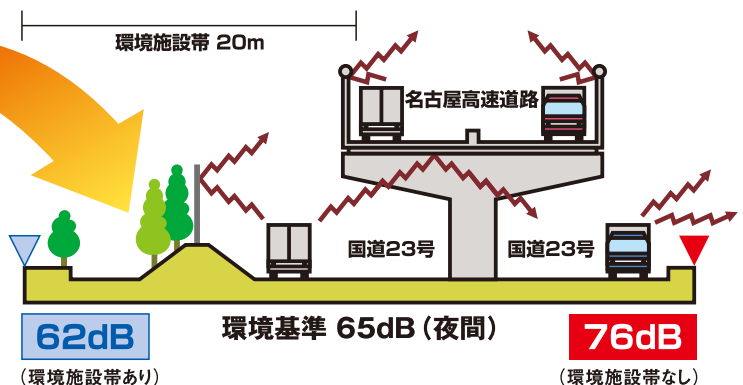
排ガス濃度の距離減衰の状況



騒音の低減効果

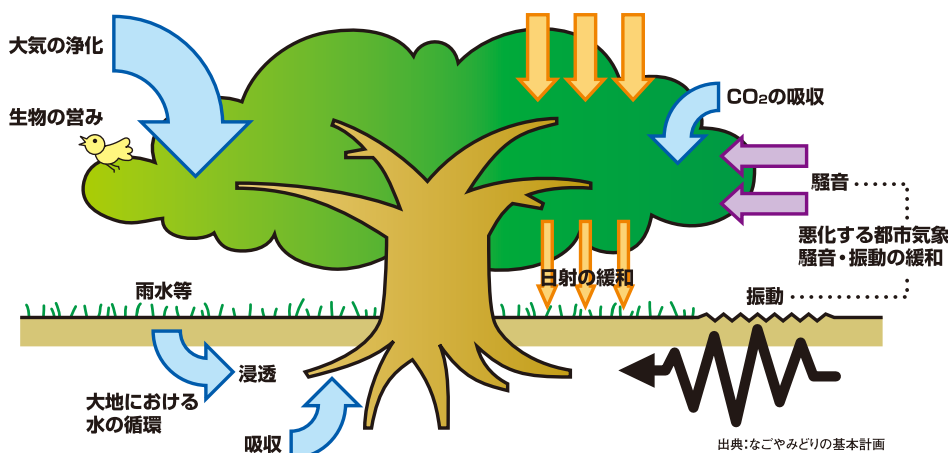
【南区要町の事例：夜間の実測値 (dB)】
出典：国土交通省調査結果 (H12年度)

要町の環境施設帯が「ある区間」は「ない区間」に比べ約14dB低く、環境基準を達成



緑の効果

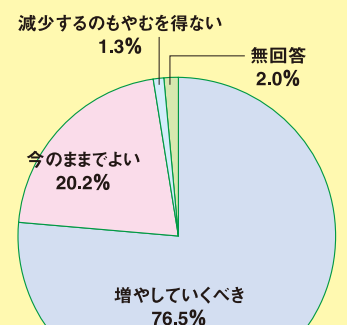
道路の緑化は、大気浄化やCO₂の削減(地球温暖化の防止)保水機能など、複数の機能が複合的・相乗的に機能、“みどり”は都市環境をつくる多様な役割を担っています。



出典：なごやみどりの基本計画

将来の緑に対する意識調査 (H10)

名古屋市民の77%が「緑を増やしていくべき」と認識



出典：なごやみどりの基本計画